

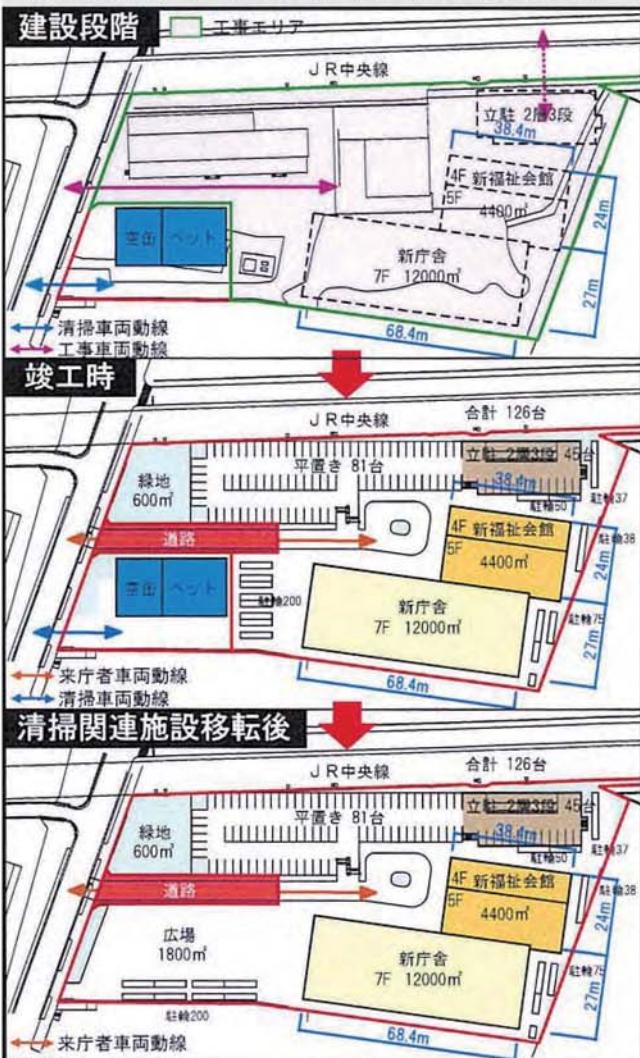
みらいのこがねい 市政報告 会派ニュース

2018年5月14日号
発行：みらいのこがねい
〒184-8504
小金井市本町6-6-3
小金井市役所本庁舎4階
TEL:042-406-1305
FAX:042-406-1306

新庁舎及び（仮称）新福祉社会館の基本設計予算は第2回定例会で上程予定 ついに（仮称）小金井市新福祉社会館建設基本計画が策定される

（於）3月19日
全員協議会

▼今後の庁舎建設予定地（蛇の目ミシン工場跡地）における施設配置の変遷
清掃関連施設を敷地内で暫定移設して庁舎と福祉社会館を複合で建設する案



施設概要

〈延べ面積〉 新 庁 舎：12,000m²
新福祉社会館：4,400m²
〈規 模〉 新 庁 舎：7階建て
新福祉社会館：5階建て

〈駐車場〉 竣工時：126台 → 清掃関連施設移転後： 126台
〈駐輪場〉 竣工時：400台 → 清掃関連施設移転後： 400台
〈広 場〉 竣工時：600m² → 清掃関連施設移転後：2,400m²
〈将来施設〉 3,330m²まで建設可（連担利用により5000m²まで可）

「小金井市議会民進党」改め「みらいのこがねい」に会派名を変更

小金井市議会の会派「小金井市議会民進党」は、4月1日から「みらいのこがねい」に名称変更しました。ちなみに、会派とは議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まった団体のことです。

会派構成はこれまでと変わらず、幹事長：鈴木しげお、副幹事長：村山ひでき、幹事：岸田正義の3名で、引き続き西岡市政を支え、議会運営に強く責任を負う立場の会派として建設的な政策提案を行ってまいります。



新庁舎及び(仮称)新福祉社会館の建設事業の概要について

新庁舎建設については、多くの市民に参加、協力をいただきながら策定した基本構想、基本計画があり、この中で掲げた基本理念等の実現を図ることが重要です。

また、(仮称)新福祉社会館については、市民検討委員会、議員間討議等を踏まえ、慎重に検討した結果として基本計画を策定しており、この中で掲げた基本理念等の実現を図ります。

これまでの取り組みと今後の事業工程計画(案)

平成 25 年3月、新庁舎建設基本計画を策定して以降の経過は、右表のとおりです。

平成 28 年 12 月、「新庁舎及び新福祉社会館は平成 33 年度竣工を目標とする」、平成 29 年 2 月、「新福祉社会館の建設場所は庁舎建設予定地が最も有力な候補地」という市長の方針のもと、市民サービスの中核を担う庁舎と、地域共生の拠点となる新福祉社会館を市の総合的サービスの提供基盤として、市の中央に位置し、一定の広さがある貴重な土地である庁舎建設予定地に整備することを目指し、様々な検討を行ってきました。また、今後の工程は下記の通りとなります。



区分	平成 30 年度						平成 31 年度						平成 32 年度						平成 33 年度																
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
庁舎建設予定地内			基本設計 者選定	基本設計					実施設計・ 施工者選定				実施設計				工事監理																		
			既存施設解体 (アスベスト含有調査含む)										既存施設解体				工事																		
				樹木伐採等、敷地内仮施設調達、機器移設												仮施設賃貸借（平成 36 年度まで）																			

早期建設は小金井市議会の意思

小金井市議会は平成28年第3回定例会の最終日である10月4日に「新福祉会館と新庁舎の早期建設を求める決議」を全会一致で可決しています（下記参照）。

今年の第2回定例会で計上される予定の基本設計に関する補正予算に対する各会派の採決態度が注目されます。

『新福祉社会館と新庁舎の早期建設を求める決議』※平成28年10月4日に全会一致で可決した本文

8月31日、西岡市長が設置した「6施設複合化プロジェクト・チーム」は最終報告書を提出した。しかし、同報告書では、議会が西岡市長に求めてきた、市庁舎及び福祉会館の建設に向けた3点の重要事項（「スケジュール」「財政計画」「複数案の比較検証結果」）が明らかにされていなかった。

平成28年第3回定例会は本日で閉会となるが、西岡市長は、今後どのように市庁舎及び福祉会館の建設を進めるかについての方針を打ち出さず、「ゼロベース」で再検討する方針を本会議で表明した。

西岡市長の選挙公約は「6施設複合化」であるが、5月には公約を変更し「4施設（2機能）複合化を揺るぎない方針とする」旨を議会に説明、それから4か月で方針が「ゼロベース」に変わったことになる。

現在、市役所本庁舎は耐震強度不足となっており、民間から借り上げている第二庁舎の賃借料支払も続いている。福祉会館は耐震強度不足で閉館され、多くの利用者に迷惑をかけている。これ以上の「先送り」は、防災対策や市民サービスの観点から看過できない。

なお、この間、9か月にわたって、市民への説明がなされていないことも問題である。

よって、小金井市議会は、西岡市長に猛省を促すとともに、その責任を強く問い合わせ、新福社会館と新庁舎の早期建設を求めるものである。

以上、決議する。

第1回定例会(2月21日~3月28日)ドキュメント:一般会計予算をめぐる攻防!

《一般会計予算の審査の経緯と結果》

3月26日:公明党が唐突に組替え動議を提出すると表明

のちに、「自民党信頼」と「情報公開こがねい」も加わり共同提案。主に東京都人事院勧告に基づく職員の勤勉手当0.2月増額分や、市長公約であるグランドデザイン策定や庁舎建設基金への積立を認めずに削除した予算を予備費へ充当する組替え動議。グランドデザインは必要であるとの議員もいる中で、あえて削除する意味はどこにあるのか。庁舎建設基金への積立を認めず、予備費からの支出とする意味はどこにあるのか。何より、都内自治体で唯一給与改定を認められず、同じ公務員でありながら0.2月低い勤勉手当となってしまう職員への影響、今後の人事採用への影響をどのように考えているのか疑問が残ります。

3月27日:予算特別委員会にて原案が否決される

賛成7=民進2、こがおも1、市民会議1、ネット1、改革1、こが明日1

反対15=自民信頼4、公明4、共産4、緑自治2、情報公開1

※議長、委員長を除く22名で採決

3月28日:本会議にて組替え動議が賛成多数で可決

賛成14=民進3、自民信頼3、公明4、情報公開1、ネット1、改革1、こが明日1

反対8=共産4、こがおも1、市民会議1、緑自治2、

3月28日:休憩後、西岡市長が原案見直しを発言

「可決された動議の内容に沿って6月定例会に修正予算を提出したい」と発言

3月28日:市長発言を受け、原案が賛成多数で可決される

※議長は裁決に加わりません。遠藤百合子議員は忌引きでした。

共働き子育てしやすい街ランキングに小金井市が選出(東京都18位 全国主要都市27位)



（出典：日本経済新聞社・日経DUAL）

1位	豊島区	11位	荒川区	18位	世田谷区
2位	港区	11位	北区	18位	千葉市
3位	渋谷区	11位	羽村市	18位	中央区
3位	東大和市	14位	品川区	18位	八王子市
3位	福生市	14位	福岡市	25位	浦安市
6位	松戸市	16位	秋田市	25位	葛飾区
7位	新宿区	16位	神戸市	27位	小金井市
8位	宇都宮市	18位	厚木市	27位	堺市
8位	杉並区	18位	板橋区	27位	千代田区
8位	調布市	18位	久喜市	27位	町田市

社会福祉員への報酬を定めた条例との齟齬が24年間以上放置されていた「社会福祉員報酬誤支給問題」をめぐり、大混乱となった第1回定例会。2度の会期延長の末、3月28日に閉会となりました。

特に、閉会に至るまで過去最大規模440億5800万円の一般会計予算の採決は混迷を極めましたのでご報告します。

まず、市議会最終日のはずだった3月26日に公明党が唐突に「組替え動議」を提出する意向であると表明し議会に激震が走りました。ちなみに、「組替え動議」とは議案に対しての修正要望などを示し、可決された場合は、動議で要求された内容を市長部局が反映させることを約束することで、動議提案議員は残った原案に対し賛成することになります。

組替えの内容は、①職員勤勉手当の引上げ、②グランドデザイン策定に要する経費、③庁舎建設基金への積立金、④都市計画道路の在り方に関する市民アンケートの以上4点の支出を削除するというもので、のちに、「自民党信頼」と「情報公開こがねい」も動議提案会派となりましたが、動議可決に必要な議会過半数には届かず、このままだと組替え動議も否決、当初予算原案も否決され、暫定予算になってしまう緊急事態に

みらいのこがねい(=当時は小金井市議会民進党)は、他会派議員からも助言や協力をいたさながら、当初予算が全否定され市民生活に悪影響を及ぼすことがないようにする方法を模索した結果、3月27日の深夜に行われた予算特別委員会の採決では賛成8:反対14で市長原案は否決されてしまったものの、市民の生活を守り、暫定予算にしないためには、むしろ公明党主導の組替え動議に賛成し、上記4点のみを執行しないと市長が発言することで、原案賛成多数を取り付けることができると判断し、最終日となった3月28日の本会議という最終議決の場でギリギリ暫定予算の危機を回避することができました。

3月8日の日本経済新聞の全面広告にて、共働き家庭を応援し仕事に忙しいワーキングママとパパのための有益な情報を提供する日経DUALと日本経済新聞社の共同調査「自治体の子育て支援による調査」で小金井市が「共働き子育てしやすい街ランキング2017」の東京編で18位、全国編でも27位に選出されたことが報じられていました。

客観的に評価する媒体があるということは、まだまだ途上ではありますが西岡市長の掲げる「子育て環境日本一」への取り組みが着実に進みつつあるということでしょう。

日経DUAL独自の12項目で評価されていますが、増加している未就学児数や認可保育所の新設計画、認可外保育所利用者への助成、保育士の待遇改善策、学童保育の充実など西岡市政が取組んできたことが評価されたものと考えられます。今後にご注目ください。

みらいのこがねい 第1回定例会 一般質問ご報告



鈴木しげお

府舍・福祉会館特別委員会 委員長
総務企画委員会
〒184-0014 貴井南町1-26-21
TEL:090-8819-0785

大災害時の被害軽減に向けた今後の対応を問う

大災害発生時の減災目標に向けた取組の現状と今後の課題、地域防災計画見直しに向けた市の見解について、①平成25年に改正された災害対策基本法で新たに示された地区防災計画を防災コミュニティづくりの観点から策定しないか。②避難者減少と防災拠点の機能強化のために在宅避難の啓発を行わないか。③災害時のボランティア参集を担う社会福祉協議会との連携強化の推進。④避難行動要支援者支援事業の充実に向け、地域包括支援センターや障がい者団体との連携の推進について。⑤避難所運営協議会設置の前段の取組として、避難所運営について学校と共に地域で考える避難所運営ゲーム(HUG)の啓発を行わないか、などの質問を行いました。



村山ひでき

建設環境委員会 委員長
府舍・福祉会館特別委員会
〒184-0004 本町6-13-17-702
TEL:090-3428-2715

都市計画道路についての市の方針の確認と 「名勝 小金井桜」の復活に向けて

1月26日に都市計画道路3・4・11号線に関する会合が開催されたが、東京都が「整備に関する意見交換会には至らなかった」と表明せざるを得ない結果となった。市長の「地元への配慮を欠いた事業着手については両路線とも希望することはありません」という発言が変わらないのならば都と交渉すべきことがある。例えば、3月に予定されている市民説明会は、意見交換会を一回でも成立させてから開催すべきであって、説明会の開催日時を市報に掲載するかどうかを材料に東京都と交渉することができたはずだと主張しました。

また、名勝小金井桜の復活事業として小金井橋～新小金井橋までの区間で今年3月に15本、本年度中に30本を植樹予定であることを確認しました。



岸田正義

厚生文教委員会
行財政改革特別委員会
〒184-0005 桜町1-10-24
TEL:090-2207-4586

家庭教育支援の必要性と 放置自転車撤去業務の効率化を問う

孤独の「孤」と書いて孤育てと言われる昨今、行政が様々な施策を展開しながらも実際には不登校児童や児童虐待相談は右肩上がりであり、文科省の追跡調査によれば不登校を経験した児童のうち18%が20歳時点でニートやひきこもりになっているとの結果もある。そのような状況を未然に予防する為には、情報や学びの場、家庭と地域のつながりの場に参加することができない保護者にどのようにアプローチするかが重要であり、従来の講座や子育てひろばといった相談者を持つ支援ではなく、行政から届けていく支援いわゆるアウトリーチ型支援が必要であると訴えました。その他、行革の観点からガラ空きの保管所閉鎖も含めた放置自転車業務効率化を提案しました。

みらいのこがねい 市政報告会

日時 2018年6月3日(日) 開会12:30 (12:15受付)

会場 小金井市前原暫定集会室1階A会議室

内容 第1回定例会の報告・今後の市政展望等

※事前申し込み不要。会費無料。

日頃の活動報告を兼ねました新会派「みらいのこがねい」による市政報告会を開催させていただきますので、お気軽にご参加ください。

